

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	東海農政局木曾川水系土地改良調査管理事務所	連絡先	052-871-4420
所管する業務の概要	国営土地改良事業に関する調査計画、全体実施設計、国営事業完了地区の管理、国営造成施設のストックマネジメント及び国営管理事業「濃尾用水地区」(犬山頭首工)の実施		

1. 基本的な心構え・行動	
・ 現在行っている取組や工夫	・ 点検によって得られた課題とその改善策
<p>・ 国営土地改良事業の実施地区は優良農業地域であり、事業効果の継続的発揮が食の安全・安心の確保など国民利益の向上につながるとの観点から日常業務に取り組むことを徹底。</p> <p>・ 各職員の業務内容と責任範囲については、各部署で定期的に確認するとともに、事務所全体会議でも再確認し徹底。</p>	<p>・ 目の前の忙しさなどから疎かにならないよう、定期的にビジョンステートメント及び行動規範を確認する。</p>
<p>・ 接遇や事務所内美化は、マニュアル等を活用し実践。</p> <p>・ 事務所の運営経費節減。</p> <p>・ 省全体の政策や事業への知見向上にむけて、資料提供と自己研鑽を奨励。</p>	<p>・ 自己流に陥らないよう、周囲から気づきの点を指摘する</p> <p>・ 自己研鑽には限界があり、研修会や説明会の活用を検討する。</p>

2. 政策・事業の企画立案・推進	
・ 現在行っている取組や工夫	・ 点検によって得られた課題とその改善策
<p>・ 国営土地改良事業に係る調査・計画では、施設の管理者、使用者である土地改良区、農家、更には地方公共団体などからの要望聞き取り、意見交換などを行うことが必要不可欠。これらの情報は、所内、農政局とも共有できるよう資料や議事メモなどを整理。</p>	<p>・ 地域からの要望や相談事は、窓口となって関係機関との連絡調整を担い、実のある結果となるよう努めている。対応の遅れが生じないように、処理確認体制を強化する。</p>

<ul style="list-style-type: none">・ノウハウの蓄積の少ない技術的課題（大規模地震対策、ストックマネジメント対策）については、専門家等による委員会を組織・議論し、施設計画、業務計画などに反映。地域情報や地域の意向が決定的に重要な防災計画、営農計画、環境配慮計画などの策定に当たっては、市町、JA など関係機関を構成員とする検討会を開催して議論。	<ul style="list-style-type: none">・調査がある程度進捗した段階で、施設計画や環境配慮計画など地域住民からの意見を集約するための説明会などを市町と連携して実施していく。・事務所ホームページについては、現在見直し作業中であり、早期に作業を完了する。
--	--

<h3>3. リスク管理</h3>	
<ul style="list-style-type: none">・現在行っている取組や工夫	<ul style="list-style-type: none">・点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none">・年度当初に確認した業務計画に沿って、進行管理等を実施。状況変化には臨機応変に対応。	<ul style="list-style-type: none">・業務計画にはない突発的な漏水事故、緊急の地元要請などへの即応性を高める必要があり、農政局、県、土地改良区など関係機関との連携体制を再確認する。
<ul style="list-style-type: none">・国営管理事業による犬山頭首工の管理については、木曾川からの必要水量の取水を確保しつつ、洪水対応、水難事故対応などに適切にできるよう危機管理マニュアルを策定するとともに、防災訓練や救命訓練、過去の緊急操作のマニュアル化により職員の対応能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">・一般者立ち入り禁止区域への立ち入り事案を受けて、警告看板の増設など臨機の対応が図られている。・事例シミュレーション等を活用し、個々の職員の緊急対応能力の更なる向上を図る。

<h3>4. 食の安全に関する取組</h3>	
<ul style="list-style-type: none">・現在行っている取組や工夫	<ul style="list-style-type: none">・点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none">・直接の関連はないが、国営土地改良事業の実施・完了地区において、事業効果の継続的発揮が食の安全・安心の確保など国民利益の向上につながるとの観点から日常業務に取り組みとの認識を共有・徹底。	
<ul style="list-style-type: none">・犬山頭首工においては、農業用水の安全性を確保すべく、水質監視を継続実施するとともに、水質事故の対応（防護資	

材、連絡体制など)を準備。	
---------------	--

5. その他の重要な取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策